

全モデルを同時開発することで、シリーズ全体のポテンシャルを飛躍的に向上

Hondaは、世界共通のクルマ本来の価値である「走る楽しさ・操る喜び」を

世界中の多くの人と分かち合いたいという思いから、

より幅広いお客様に選ばれるCセグメントをリードするクルマを目指し、シビックシリーズの在り方をゼロから見つめ直しました。

まずはセダン、ハッチバック、そしてTYPE Rをも含めた全モデルで

新世代のシビックとしての資質を共有できる高次元なプラットフォームの具現化に着手しました。

日常の使い勝手からサーキット走行まで想定したクルマの基礎づくりから

取り組むことで、懐の深いポテンシャルを持つ基本構造を構築。

これをベースに全モデルを同時開発することによって、それぞれの強みを互いに享受しながら

個性を引き延ばすことが可能になりました。セダンやハッチバックは広さや使い勝手の向上はもちろん、

TYPE Rと同じ血が流れる、よりスポーティーな運動性能を獲得。

一方のTYPE Rは、従来のようなベース車両からのチューンアップではなく当初から専用開発をスタートしたことで

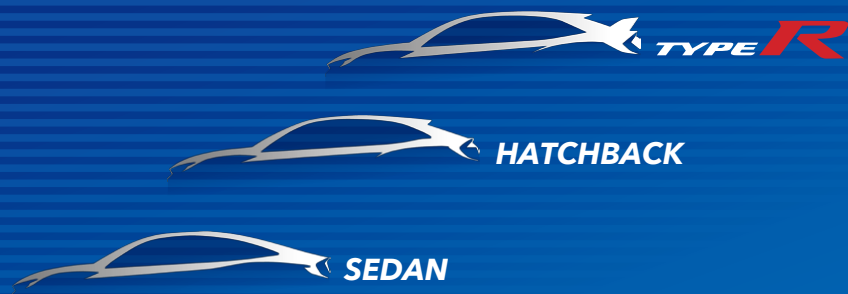
スポーツ性能を大幅に強化でき、なおかつプラットフォームの許容範囲の広さを活かすことによって、

街中での乗りやすさや居住性、快適性などをよりいっそう拡大。

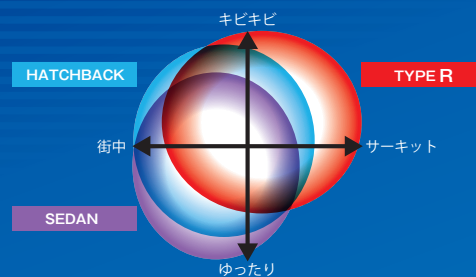
すべてのモデルが「走る楽しさ・操る喜び」をより深く、より多くのシーンで

体感していただけるシビックへと、飛躍的な進化を遂げました。

CIVIC



■「走る楽しさ・操る喜び」領域イメージ



■共通プラットフォームによるポテンシャル向上イメージ

